



## 変化と未来

令和 8 年 2 月 10 日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

今日世界は新たな未来への転換を模索するものである。それらは時代の約束であり、未来という新たな現実への参加を行う新たな参加者たちは、新しい世界の実現を求めるのである。

これらは今日世界が過去という現実から未来という現実へ移行するその大きな変化を有することにおいて理解できるものである。

異なる世界は未来という新しい現実である。それらは高い技術進歩が新たな世界の創造を模索するためである。

また大衆の時代という新たな現実は大衆が現実に従属する過去から、その自らの主張においてその未来を耐久するものなのである。

これら変化は社会の完全な転換であり、新しい世界の創造であることは理解できるものである。

またこれら現実はすべての国家や地域において存在するものであり、既存現実への従属を否定し、新しい世界の渴望を得るのである。

これら変化は大衆の反乱であり、新たな自由という現実の希求なのである。

これら過去大衆は現実への従属を経て、自己を有するのであったことは真実である。しかし 20 世紀におけるアメリカの市民革命は、世界の統一を与え、彼らの提案する新しい未来への参加は世界におけるトレンドそのものなのである。

これらは富と欲望という混乱を今日世界が有することは理解できるものであり、政治は自らの新しい指針を要求されるものである。

これら未来という現実をリードできるのはもしかしたら大衆を有する存在なのかもしれない。